



あぐり 最前線

土壌分析をしましょう！
—コスト低減に向けて—
JAでは、肥料の過剰施肥による無駄をなくしコスト低減に繋げるため、土壌分析を毎月実施しています。分析を希望される方は、約1合程度(20g)を採り、必ず土壌を乾燥させてから袋に入れ住所・氏名・TELと、水稲野菜(キャベツ、ハクサイ、等)・果樹(ミカン、カキ、等)など品目名を記入して、4月19日(金)までに各支店へご持参ください。分析結果は5月中旬頃にご連絡致します。

市場出荷休日カレンダー (野菜・果樹)

4月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

5月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

×は出荷できない日 □は日曜・祝日等

※防除薬剤のあとの数字は、安全使用基準で、(収穫何日前まで使用可能か/通算使用可能回数)を表しています。農薬は農薬安全使用基準を守り、正しく適期に防除してください。
例)表記が(14日/2回)の場合:収穫14日前までに2回使用可能

水稲

水稲栽培の時期が近づいてきました。育苗手順を確認して、準備しましょう。

●種もみの準備

種もみは10aあたり3~4kg準備します。枝梗がついている場合は、塩水選や播種の精度、能率が低下するのであらかじめ脱芒してください。

●塩水選

稔実の良い、無菌の種もみを得るために実施する重要な作業です。

比重液は食塩や硫酸を使って作りまします。下図を参考にし、浮いた種子を除去し、沈んだものだけを選別します。選別した種子は、流水で洗って塩分を十分取り除いてください。

塩水選

参考

種もみの準備
塩水選 (稔実の良いもみを選ぶ)
生卵による比重の見わけ方
塩類添加量(水10ℓあたり)

種類	比重	食塩	硫酸
うるち	1.13	2.00kg	2.56kg
もち	1.08	1.22kg	1.50kg

※塩水選後は十分水洗いしてください。

●種子消毒

育苗中は、病害を発生させないことが大切です。細菌やカビ対策として種子を消毒してください。

◎ばか苗病・褐条病・もみ枯細菌病・イネシンガレセンチュウ

・モミガードC(水) 200倍
・スミチオン(乳) 100倍

2種類を加用し、24時間浸漬してください。その後、半日~1日風乾してから浸種・催芽作業に入ります。

イネシンガレセンチュウの被害が発生しています。種子消毒を十分に行い、対策をしてください。



イネシンガレセンチュウ

●浸種・催芽

浸種・催芽は水稲栽培で最初に失敗する可能性がある作業です。浸種時間が短いと(積算水温100℃未満)発芽揃いが悪くなります。また、水の入れ替えを怠ると酸欠を起こします。催芽が不揃いになったり、腐敗するので注意しましょう。もみ全体の80%がハト胸状態になったら、水から出して陰干しします。

●ポイント

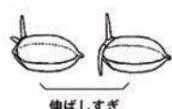
- ①水の交換の目安は、浸種3日後の朝からです。2~3日に1回程度入れ替えましょう。
- ②播種の前日に水から上げて、水きりをしてください。
- ③芽が伸びすぎると播種時に折れるので、1mm程度を目安にしましょう。



出が足りない



最適



伸ばしすぎ

●播種

播種前に床土(約2kg)を均一に入れてください。箱は10aあたり20枚程度必要です。

播種は、床土に十分灌水した後にを行います。播種量は、催芽もみで180g/箱、厚播きすると軟弱徒長苗や病害が出やすくなるので注意しましょう。

播種後は、種もみが見えなくなる程度(約1kg)の覆土をします。覆土の上からの灌水はカビの原因となるため、絶対に行わないでください。

育苗箱の目が粗く、田植時に根が絡まって育苗箱から取り出すのが大変な場合は、クラパピーなどの防根シートを使用しましょう。

※田植時には必ず防根シートをはずしてください。

●育苗

育苗中にカビが発生した場合は

・タチガレン(液) 500倍
または
・ダコニール1000 1000倍
を育苗箱1箱あたり500ml散布してください。

キャベツ



気温が高くなるので、裂球と病害虫の発生には十分注意してください。

収穫の終わった圃場は早めにすきこみましょう。

●追肥

※石井中早生・YR春空
▽結球開始期
・ニューパワーユーキ333(100kg/10a)
または
・アツマップ545(80kg/10a)

●病害虫防除

※石井中早生・YR春空
・アクセル(フ) 1000倍(前日/3回)

ハクサイ(春どり)



暖かくなるにつれて芯の上がりも早くなるため、適期収穫を心掛けてください。

●病害虫防除

▽4月上旬(トンネル栽培)
・フェニックス(顆) 200倍(前日/3回)
・コルト(顆) 400倍(3日/3回)
・パリダシン(液) 500倍(3日/3回)
▽4月中旬(パオパオ掛け栽培)
・フェニックス(顆) 200倍(前日/3回)
・ランマン(フ) 2000倍(3日/4回)

ブロッコリー(春どり)



春は花蕾の肥大が早いので、とり遅れないように締まりの良い花蕾を収穫します。品質を保つため、できるだけ涼しい時間帯に収穫して、低温で管理しましょう。

●追肥

※ピクセル・フォレスト
▽花蕾発現期
・ニューパワーユーキ333(80kg/10a)

●病害虫防除

▽4月中旬
・アデオン(乳) 200倍(3日/5回)
・シグナムWDG 1500倍(14日/1回)

新シヨウガ



●追肥

根の発達を促進するため、追肥を中心とした肥培管理が適しています。
1次茎の葉数が5~6枚頃に第1回目

の追肥を行います。以降、収穫期まで1か月ごとに行います。

●土寄せ

追肥作業と同時に行ってください。肥料の効果を高めるとともに、新しく発生する塊茎の緑化を防ぐことができます。株元に土をかけすぎないように注意してください。

●病害虫防除

◎アワノメイガ
・パダシG(溶) 1500倍(7日/5回)
◎紋枯病
・パリダシン(液) 800倍(14日/4回)
◎根茎腐敗病
発生した株はすみやかに抜き取り、薬剤で防除してください。
・ランマン(フ) 500倍~1000倍(3ℓ/m)
・ユニフォーム(粒) 18kg/10a(30日/3回) *生育期土壌表面散布

ピーマン



開花から収穫までの日数は、約15~20日です。たくさん実がついた場合は、早めに収穫し、株の疲労を防ぐことが大切です。収穫が遅れた実は皮が硬くなり、色も悪くなるため注意が必要です。

●病害虫防除

◎灰色カビ病・菌核病
高温多湿で発生が多くなるので薬剤を散布してください。
・ロブラール(水) 1000~1500倍(前日/4回)

◎うどんこ病

完全防除がしにくいので、初期に薬剤を散布してください。

・トリフミン(水) 3000~5000倍(前日/5回)

◎アブラムシ類

・ウララDF 2000~4000倍(前日/2回)
・コルト(顆) 4000倍(前日/2回)

●追肥

通路を溝切りしてぼかし肥料などを施す場合は、4月末までに終えましょう。この時期より遅れると根を傷めます。液肥による追肥は、樹勢に応じて加減し、月2~3回(1回あたり、窒素成分で1~2kg/100本)を基準にしてください。樹勢が落ちたら、薄い液肥を混ぜて少量灌水にし、芽の出方を確認した上で追肥してください。

●灌水

活着までは株元灌水(手灌水)とし、活着後は灌水パイプで灌水しましょう。生育が進むにつれて水分要求量が増すので、灌水パイプと併せて畝間灌水をして乾燥防止に努めてください。

シシトウ



●加温栽培

4月に入ると気温の上昇や太陽光線の強まりで収穫量が増加してきます。果実の収穫適期は長さ5.5~6cmくらいです。果実が長く太らないように注意してください。

●無加温栽培
定植時にアドマイヤー1(粒)1〜2g/株を散布していない場合は、アブラムシ類の防除のため
・チエス(顆) 500倍(前日/3回)を散布してください。

トウガン



●定植(トンネル栽培)
本葉5〜6枚の開花した苗を植えま
す。トウガンは、高温・乾燥に強く、低
温・多湿には弱い性質をもちます。畑の
準備(畝立てやマルチ)は早めに行い、
排水の改善や地温を上げておく準備を
しましょう。また、定植時にホットキャ
ップで保温すると、初期生育を早めるこ
とができます。ただし、活着後4月中下旬
までは夜間の保温に努めるとともに、日
中30℃以上の高温にならないように十分
換気を行ってください。
●人工授粉・トンネルの除去
気温が低くハチの飛来が少ないため、
早朝に人工授粉を行い、確実に着果させ
ます。
4月下旬、気温が安定したらトンネル
をはずします。

・ジマンダイセン(水) 600倍(14日/3回)
または
・アミスター20(フ) 200倍(3日/4回)
●ベト病・白色疫病
予防的に早めに薬剤を散布してください。
・ジマンダイセン(水) 600倍(14日/3回)

ニンジン



播種後から生育前半にかけて、土壌を
過乾燥にさせないよう注意してくださ
い。

●間引き・追肥
本葉3〜4枚の時期に間引きし、その
後は遅れないよう追肥をしてください。
施肥量は収穫期に近づいて葉の生育がに
ぶり、少しは色が落ちる程度にすること
が品質を良くする方法です。
また、乾燥が続いて葉と根のバランス
がくずれ、急にしおれるような場合は灌
水することが大切です。

●抽苔の発生
ニンジンには、本葉8枚の頃に10℃以下
の低温にあうことで花芽を作り、その後
の長日・高温(10〜25℃)で抽苔します。
天候をみて、被覆物を除去しましょう。
●裂根の発生
本葉4〜5枚の頃に乾燥・低温にあた
り、生育後半に温暖・多雨の場合、急激
に根が肥大することで発生が多くなり
ます。また、収穫の遅れも発生要因とな
ります。

るため、適期収穫に努めましょう。
●病害虫防除
●黒葉枯病、黒斑病
雨天が続く、生育が落ちたときに多発
します。初期防除が重要です。
・ポリオキシナル(水) 500倍(7日/5回)
または
・ベルコート(フ) 100倍(14日/5回)

ダイコン



春栽培は、天候により生育スピードが
変わるため生育に応じて収穫時期を調整
しましょう。

●病害虫防除
●黒斑細菌病
温暖多雨の気候で発生し、土壌伝染・
空気伝染により被害が拡大します。春作
では発病する可能性が非常に高いため十
分注意してください。
▽予防
・カセット(水) 1000倍(14日/3回)
▽発生初期
・マイコシールド 1000倍(14日/3回)
●キスジノミハムシ
成虫は葉を食害し、地際部または土壌
中に産卵します。幼虫は根部表面を食害
し、1mmの小さな穴を点々とあけ、被害
がひどいものは、一面ミミズが走ったよ
うなサメ肌状となります。
●タネバエ
地際部または土壌中で生まれた幼虫
は、根部に1〜5mmの穴をあけ、根の表

面に対して直角に内部に侵入します。
産卵には土壌水分が重要で、畑の耕起
後や降雨後などの湿り気のある状態が適
しています。そのため、薬剤の土壌混和
や降雨後の薬剤散布により防除を行いま
しょう。
▽播種時(全面土壌混和1回)
・フォース粒剤 6〜9g/10a
▽被覆資材除去後または間引き後
・ダイアジノン(粒5) 6g/10a
(21日/1回)
▽生育期
・エルサン(乳) 1000〜2000倍(30日/2回)
・モスピラン(顆) 2000倍(14日/1回)

ウメ



4月には新芽が開き、果実も急激に大
きくなるとともに生理落果の時期となり
ます。

●病害虫防除
▽4月上旬(幼果期)
●かいよう病
特に風あたりの強い園地で多く発生し、
山間地で霧の発生しやすいところや低温で
水はけが悪いところでも発生しやすくなり
ます。防風垣を設置して発生を予防しまし
ょう。毎年発生が見られる園地では、落弁
期から防除を行います。
・マイコシールド 1500倍(21日/4回)
●黒星病
4〜5月にかけて雨の多い年に発生が

青ネギ



4月になり徐々に暖かくなると、病気の
発生が多くなります。

●病害虫防除
●さび病
多く、特に低温多湿地や通風の悪い園地
は発病しやすいため、排水・通風を良く
することが重要です。防除時期は、肥大
初期(4月上旬)と小豆粒大期(4月中
旬)に行いましょう。
・スコア(顆) 300倍(前日/3回)
▽4月下旬(果実肥大期)
●かいよう病
●マイコシールド 1500倍(21日/4回)
●黒星病
・ストロビードF 2000倍(7日/3回)
●ケムシ類
・マブリック(水) 4000倍(21日/2回)

定程度・地力によって加減し、生理落果
の多い品種では2〜3割多くします。な
お、日川白鳳などの早生品種は果実が小
さいので早めの着果制限が必要です。硬
核期前の仕上げ摘果を重視しましょう。
●結果枝へのならせ方
結果枝への着果は、短果枝は先端部
に、中・長果枝は中央部を中心にならせ
ます。
着果位置と果実品質との関係を見る
と、いずれも先端に着果させた果実が大
きく、糖度も高いです。しかし、中・長
果枝では核割れ果や軟肉果の発生が多
く、果実の大きさにもバラツキが見られ
ます。また、葉のある部位の果実の品質
がすぐれているので、短果枝では枝すれ
などが起きにくい先端部に、中・長果枝
では果実品質のぶれが少ない中間部を中
心に着果させます。

回)

カキ



●病害虫防除
▽4月中旬 ※刀根早生
●フジコナカイガラムシ・カキノヘタム
シガ
越冬した害虫は、結果母枝先端の芽や
葉柄に集まる習性があります。
・トクチオン(水) 800倍(75日/2回)
●うどんこ病
病原菌は枝や樹皮表面に付着して越冬
し、新梢の葉に感染・発病します。
・サルファール 500倍(制限なし)

●病害虫防除
▽4月上・中旬
4〜5月頃に雨が降り続いて比較的低温
の年は、日照不足によりいつまでも葉
が軟弱で病気に侵されやすい状態になり
ます。また、病原菌の活動も盛んな時期
です。病原菌は風や雨によって運ばれ、
葉や果実の上で発芽し被害が拡大するた
め薬剤防除が必要です。新芽がわずかに
伸びた頃が防除適期です。
●そうか病
・デラン(フ) 1000倍(30日/3回)
●かいよう病
・ICボルドー66D 80倍(制限なし)
・クレフノン 200倍(加用)

●実肥
▽4月下旬
生理落果終了時から結実時に、果実肥
大と新葉の生育促進のため実肥を施用し
ます。
・L化成488(40kg/10a)
●灌水
晴天が1週間以上続き、土壌が乾燥し
た場合、1樹あたり100ℓ程度灌水してく
ださい。

モモ



今月は、開花も満開期を迎え、摘果の
時期となります。

●摘果
果実肥大に差が見られる、満開後40日
頃から開始し、硬核期が始まる満開後50
日頃までには終了します。樹全体では1
〜2割増しとしますが、樹勢・品種・剪

●病害虫防除
▽4月上旬(満開直後)
●せん孔細菌病
・マイコシールド 1500倍(21日/5回)
●黒星、灰星病
・トリフミン(水) 1000倍(前日/3回)
●アブラムシ・シンクイムシ類
・スタークル(顆) 2000倍(前日/3回)
▽4月下旬(新梢伸長期)
●せん孔細菌病
・マイコシールド 1500倍(21日/5回)
●黒星、灰星病
・ストロビードF 2000倍(前日/3回)
●クワシロカイガラムシ
・スプラサイド(水) 1500倍(21日/2

みかん



4月になると気温の上昇とともに病害
虫の発生が多くなります。適宜防除に努

カキは養分吸収を開始する時期が遅
く、発芽から開花期までに必要とする養
分はほとんど前年に蓄えられた貯蔵養分
によってまかなわれています。残す蓄は
1結果枝に1蕾が基本です。ヘタ4枚が
揃い充実した傷のない大きい蕾で、結果
枝中部の下向きか横向きの蕾を残しま
す。下向きの結果枝や新葉が5枚以下の
弱い枝は全て摘蕾しましょう。遅れ花
も、品質が良くないため全て除去しまし
ょう。

●摘蕾
樹勢が弱く、ベタ花になりやすいゆ
ら早生などでは、発育枝がほとんど出ない
ため、放置すると枯れこみやすくなりま
す。そのため、主枝先端部を摘蕾し、5
月芽を発生させ樹勢回復を図っていくこ
とも大切です。作業は、蕾が大きくなっ
て開花始めまでの10日間に行いまし
ょう。

農業体験農園利用希望者募集中！

園主さんに栽培管理を教わりながら、1年を通してさまざまなおいしい野菜を育てて収穫することができます。

作付けの計画や必要な肥料・苗・農機具は園主さんが準備しますので、農業の知識がない方でも気軽に始めることができます。家族での農業体験や趣味としての利用にもオススメです。

農園	鳴神ファーム (和歌山市鳴神505-4)	太田ファーム (和歌山市新中島58-1)	梅原ファーム (和歌山市梅原298-1)
園主	堀 禎宏さん	太田 政文さん	貴志 正幸さん
年間利用料	36,300円/1区画	40,000円/1区画	
面積	20㎡/1区画		
お問い合わせは 営農生活部 ☎473-9402 まで			

生産緑地地区の指定について

生産緑地制度は、市街化区域内において次の条件に合致する農地を指定することによって、公共空地を含めた緑地の適正な保全を図り、良好な都市環境の形成に資することを目的としています。

対象農地など

生産緑地地区の指定を受けるには、次の条件をすべて満たしていることが必要です。

- 面積要件
 - ・一団の農地の面積が500㎡以上であること。
- 接道要件
 - ・建築基準法第42条第1項各号の道路（同条第2項の要件を満たすみなし道路も含む）
 - ・国、県、市が管理する道路（農道など）
 - これらいずれかの道路に農地が4m以上接していること。
 - ※和歌山市立地適正化計画の居住誘導区域及び都市機能誘導区域外の農地については、接道は不要。
- 営農継続要件
 - ・主たる従事者の年齢が60歳未満であること、もしくは60歳未満の後継者を指名すること。
 - ・主たる従事者の経営耕地面積が3000㎡以上、もしくは主たる従事者の直近3年間における農業収入額の平均が50万円以上であること。

生産緑地地区に指定されると

- (1) 生産緑地地区に指定された農地は、翌年度から固定資産税・都市計画税が見直されます。
- (2) 生産緑地地区を30年間良好に管理する責務が生じます。
- (3) 生産緑地地区に指定された農地は、農地転用や建築が法律により制限されます。
- (4) 生産緑地地区内には標識が設置されます。

生産緑地地区の指定を受けようとする場合は、必ず審査申込期間内に和歌山市役所まちなみ景観課(市役所本庁舎9階)までお越しください。

- ◇申込期間 : 2019年5月7日(火)~5月31日(金)(土、日、祝日は除く)
8時30分~17時15分
- ◇必要書類 : ①生産緑地地区指定審査申込書(まちなみ景観課の窓口に備え付けています)
②固定資産税納税通知書

詳しくは、【和歌山市役所まちなみ景観課 ☎435-1082】までお問い合わせください。



牡羊座
3/21~4/19

全体運
健康運

公私共に活躍の場が広がりそう。やりたいことがあれば、積極的に自己アピールを。にぎやかな場所につきあり。
軽く体を動かすことで、より健康体に。
幸運を呼ぶ食べ物 ●モズク